

【2024年11月15日】
送付枚数 本票含め2枚

報道機関各位

山口大学医学部が萩市、阿武町、萩市医師会と 脳梗塞・心不全予防プロジェクトを開始

令和6年10月、山口大学医学部器官病態内科学講座（佐野元昭教授）は、萩市、阿武町及び萩市医師会と連携し、3年間のモデル事業として、脳梗塞・心不全予防プロジェクトを開始しました。本プロジェクトは、萩医療圏内における後期高齢者の健康診査項目に75歳以上の心電図検査を追加し、心房細動の検出率を高め、発見された心房細動に対して適切な治療を提供するものです。これにより、多くの高齢者が脳梗塞や心不全を防ぎ、健康な生活を送れるようになるとともに、自治体や市医師会と協力し、より緻密な地域医療を提供することで、地域の連携がより強化され、住民全体の健康が向上することが期待されます。

【背景と目的】

萩医療圏では、統計上、心・脳血管疾患による死亡率が、がんでの死亡率を上回っています。また、年齢構成の差異を基準の死亡率で調整した死亡数で比較しても、同医療圏は脳血管疾患や心疾患による死亡率が、県内の他の医療圏より高い状況です。心房細動は突然発症し、動悸や倦怠感の原因になりますが、無症状で経過する場合も多くあり、心電図検査で初めて指摘される場合が少なくありません。一方で、心房細動は心不全の原因になりうるとともに、突然発症する脳卒中の三大原因の一つでもあります。特に、75歳以上の後期高齢者は心房細動における脳梗塞のリスクが高いことが証明されていますが、現在、山口県での75歳以上の後期高齢者に対する健診審査項目の中に心電図検査は含まれていません。

本プロジェクトにより、心・脳血管疾患による死亡率が高い萩医療圏において、後期高齢者に対する心電図検査で心房細動が検出された場合、適切な治療を早期に受けることが可能になります。

本プロジェクトが萩医療圏で成功し、将来的には山口県全体に拡充することで、多くの高齢者が健康に過ごせる社会が実現することを期待します。

つきましては、広く一般の方々へお知らせいただくとともに、取材方よろしくお願いたします。

※プロジェクトの代表

山口大学医学部器官病態内科学講座：佐野元昭、吉賀康裕、福田昌和

萩市：市長 田中文夫

阿武町：町長 花田憲彦

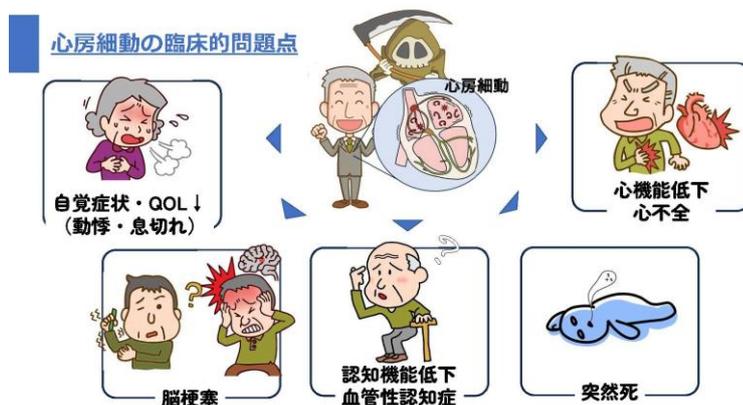
萩市医師会：会長 山本達人

【心房細動について】

心房細動とは、不整脈の一種で高齢者に多い心電図上の異常です。心房細動がおこると血液が心房内で滞留しやすくなり、これが血栓の形成を促進します。この血栓が、血流に乗って脳の血管を塞ぐと脳梗塞を引き起こします。心房細動による脳梗塞は非常に重篤で、「ノックアウト型脳梗塞」と呼ばれることもあります。一度発症すると大きな後遺症を残すことが多く、寝たきり

や車いす状態となり、介護を必要とすることが少なくありません。また、心房細動患者の約半数が無症状であるために、脳梗塞を発症後に心房細動が初めて認知されるケースもあります。

心房細動が発見されれば、抗凝固剤の服用やカテーテルアブレーション治療など適切な治療を受けることによって、脳梗塞のリスクを減らすことが可能です。したがって、後期高齢者の定期的な健康診断において、心電図検査による心房細動の早期発見は極めて重要といえます。



【脳卒中・心臓病等総合支援センター事業について】

令和6年7月に、山口大学医学部附属病院に、脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。「ストップCVD（脳心血管病）・健康長寿」のスローガンの下、脳卒中、心不全および血管病（急性心筋梗塞、大動脈解離、大動脈瘤破裂、末梢動脈疾患）を重要3疾患と位置付けて、「脳卒中・心血管病の予防や正しい知識の普及啓発」、「保健、医療および福祉に係るサービスの提供体制の充実」などを目標に、都道府県ごとに対策が強化されつつあります。同センターでは、以下の事業を推進してまいります。

- ① 脳卒中・心血管病の予防：健診の普及や予防活動の推進
- ② 救急搬送体制の整備：迅速かつ適切な搬送体制の構築
- ③ 心臓リハビリテーションの実施：回復期からの包括的なサポート
- ④ 後遺症患者の支援：脳卒中や心血管病の後遺症を持つ患者の支援
- ⑤ 社会連携の推進：地域全体での患者支援体制の強化
- ⑥ 治療と仕事の両立支援：就労支援を含む包括的なサポート
- ⑦ 先天性心疾患の小児期から成人期への移行支援
- ⑧ 適切な情報提供と相互支援：患者や家族への情報提供と支援の充実

【取材に関するお問い合わせ】

山口大学医学部総務課広報・国際係（西村）

TEL:0836-22-2009

E-mail: me268@yamaguchi-u.ac.jp

発信者

国立大学法人山口大学総務企画部
総務課広報室

〒753-8511 山口市吉田 1677-1

TEL 083-933-5007

FAX 083-933-5013

E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp